

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和3年度吉城高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和3年6月8日(火)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

会長	柴田 駿一	吉城高校同窓会長
副会長	沖畑 康子	飛騨市教育長
委員	都竹 淳也	飛騨市長
	川上 佳洋	宇宙まるごと創生塾飛騨アカデミー理事長
	渡邊 正憲	(株)飛騨ダイカスト代表取締役
	石原 典子	元民生委員(主婦)
	北村 淳子	(有)まるじん役員
	岩原 明生	飛騨古川青年会議所理事長
	田宮 久史	吉城高校育友会長
	船坂 志乃	吉城高校育友会女性部長
学校側	日江井 孝浩	校長
	中田 和美	教頭
	大乘坊 健	事務長
	小原 誠	教務主任
	河野 和代	生徒指導主事
	小澤 耕	進路指導主事
	桐谷 直嗣	特別活動部長
	鈴木 泰輔	キャリア推進部長
	野村 剛志	理数科主任
	関口 祐太	進路支援(株)Edo 代表取締役
オブザーバー	布俣 正也	岐阜県議会議員

5 会議の概要(協議事項)

(1) 委員長、副委員長の選出

全員一致で承認された。

(2) 教育課程の編成に関する事項

意見1:教育課程の中の「ESD」、「地域PBL」また「YCK」などアルファベッ

トが多く、何のことかわからない。外部に向けて学校の魅力を語ったり、アピールしたりする時や推薦入試等で学校の活動を語ろうと思う際に、これらのワードは通じないのではないか。

回答 「地域PBL」は、「地域プロジェクト学習」という名称に変更する。「ESD」は、「持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）」のことで、「YCK」は、「吉高地域キラメキプロジェクト」のことである。

意見2：探究学習の進展を楽しみにしている。教科の授業についても身に付けさせたい力と主体性を育む授業は、アピールできる特色である。

(3) 学校経営計画に関する事項

意見1：教科指導の重点目標の「主体的・協働的に取り組む態度を育てる」の評価指標とするアンケートは、この「主体的」「協働的」の2点を明確にしたものでなければ評価できない。「吉城高校で生徒に身に付けさせたい力」の3観点から9項目が示され、目指すところが明確になった。教師、生徒、保護者、地域が共有し、確認しあって進めたい。

回答 アンケートについては「主体的」「協働的」の観点は意識して作成する。岐阜県の公立高校では、令和4年度に向けて各学校で「三つの方針（スクール・ポリシー）」の策定及び公表をすることになっている。策定内容は、①高等学校学習指導要領に定めるところにより育成を目指す資質・能力に関する方針→グラデュエーション・ポリシー（GP）『育てたい生徒像』②教育課程の編成及び実施に関する方針→カリキュラム・ポリシー（CP）『生徒をどう育てるか』③入学者の受入れに関する方針→アドミッション・ポリシー（AP）『どんな生徒を待っているか』の3点である。第2回の学校運営協議会（10月4日開催予定）で提案する。

意見2：達成度の判断について目指すゴールを明確にする。判定基準あるいは評価指標について、より具体的な数値目標の設定を図るとよいのではないか。次年度に向けての課題整理レポートの義務化も考えられる。

回答 スクール・ポリシーに反映させていく。

(4) 学校の組織編成に関する事項

(5) 令和4年度以降の学校設定科目について

①「地域PBL」について

意見1：オリエンテーション以降の「魅力発見」については、精選し、課題発見及び課題解決に焦点化させたらどうか。とりわけ課題解決策につき、生徒に様々な情報収集や地域との関わりを深めさせることにより、生徒一人ひとりの地域版SDGs達成感を実感させられないだろうか。

②「地域課題探究」について

意見1：地域で実習する機会を効率的に増やすことも大切なことである。その際、

地元の住民とのパイプ役を積極的に努めていただくボランティアサポートスタッフを育成することも必要と考える。

意見2：昨今のSDGsの推進は、古今東西、地域社会や家庭、企業に当たり前に存在し、無意識のうちにリテラシーを身に付け、発展繁栄してきた。それが脆弱となり、地域の疲弊が進む中、生徒の知見が深まること事に期待する。

③「国際理解探究」について

意見1：国際理解探究は、是非とも深めて、この奥飛騨から世界へ羽ばたいてもらいたい。特に台湾とは、従来の交流の歴史もあるのでオンラインも含め交流願いたい。またコロナ禍の状況をふまえ、例えば在日台湾人の方々の講演会等も一考ではないだろうか。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会において、「教育課程の編成に関する事項」「学校経営計画に関する事項」「学校の組織編成に関する事項」の3点について全委員より承認が得られた。第2回、第3回の「学校運営協議会」では、委員来校のうえ施設設備や授業の様子をふまえて意見をいただき、スクール・ポリシー策定につなげていく。